

ほこた市 議会だより

令和7年10月発行 No.81



～銚田市合併20周年記念式典～



議会映像配信の お知らせ



生中継・録画中継で
本会議を傍聴できます。

銚田市議会 中継

検索

令和7年第4回定例会の予定……
掲載中

一般質問は
9人の議員が
質問したよ！



銚田市マスコット
キャラクター

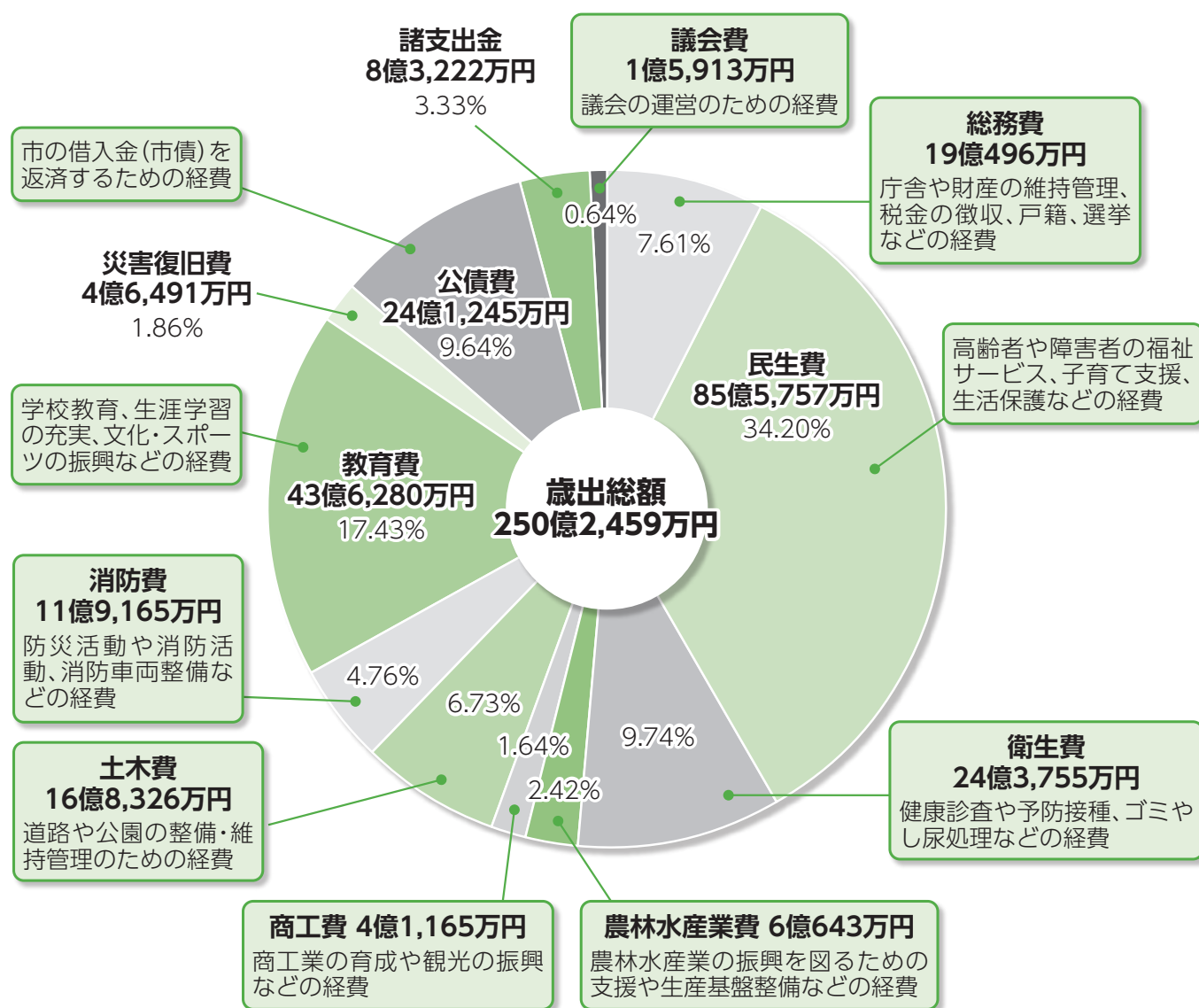
ほこまる

令和6年度決算特集……………	P2～P7
令和7年第6回臨時会・令和7年第3回定例会…	P8～P10
注目議案ピックアップ……………	P10
ここが聞きたい！ 一般質問9人が質問しました…	P11～P16
請願審査報告……………	P16
令和7年第5回臨時会……………	P17
議会活動報告……………	P17～P18
委員会活動報告……………	P18～P19

ちの税金

市民の皆さんが、銚田市に納めている市税（市民税・固定資産税・軽自動車税・たばこ税・入湯税）、国や県からの交付金や補助金などがどのように使われたのかお知らせします。

一般会計 歳出



注）四捨五入により記載しているため、合計が一致しない場合があります

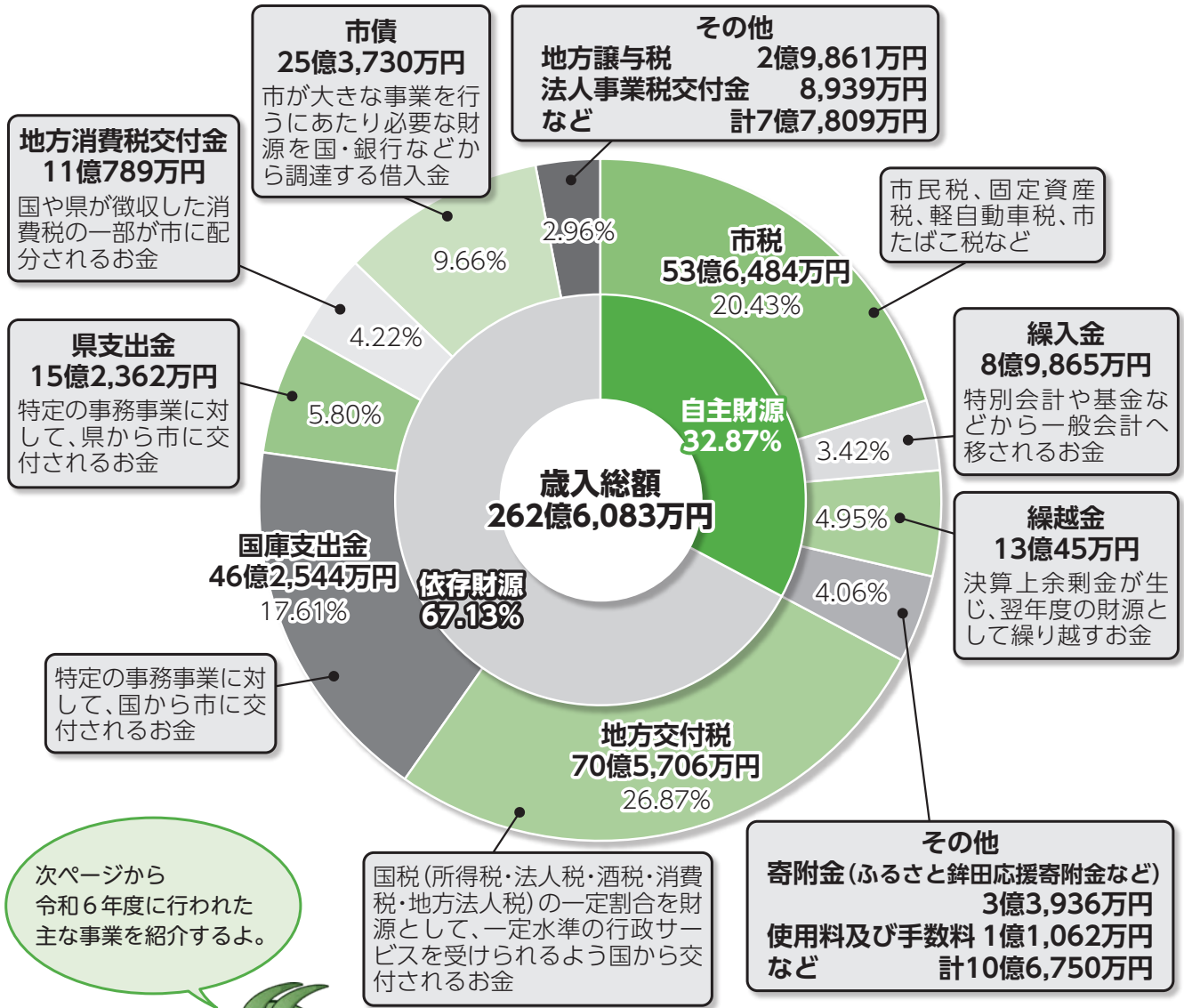
企 業 会 計			水 道 事 業	下 水 道 事 業
収益的収支	収 入	17億329万円	11億7,320万円	5億3,009万円
	支 出	16億5,460万円	11億3,454万円	5億2,006万円
資本的収支	収 入	7億6,716万円	4億5,093万円	3億1,623万円
	支 出	13億7,937万円	9億1,227万円	4億6,710万円



令和6年度 歳入歳出決算を集中審議

特集 どう使われたの？ 私たち

一般会計 歳入



※「自主財源」とは、地方公共団体が自主的に収入できる財源
 ※「依存財源」とは、国や県により定められた額が交付される財源

会計区分	一般会計	特別会計	国民健康保険	後期高齢者医療	介護保険
歳入	262億6,083万円	130億8,541万円	69億8,743万円	7億7,860万円	53億1,938万円
歳出	250億2,459万円	127億9,764万円	68億6,143万円	7億5,258万円	51億8,363万円



部活動地域移行実証事業

主な事業

117万円

休日の部活動を段階的に地域展開するため地域クラブの実証事業を実施しました。クラブ員の保険加入から地域指導者への報酬支払いまでに地域クラブの事務局が行うべき事務について課題を抽出しました。



スポーツクライミング推進事業

主な事業

706万円

スポーツクライミング専用施設であるつくしゅくの杜スポーツクライミングセンターの特性を活かしクライミング体験教室や全国規模の競技大会等を開催することにより、スポーツクライミングの普及向上と市の魅力を発信しました。



空家対策事業

主な事業

750万円

空家の定期的なパトロールを実施し、管理不全空家の所有者に対し適正な管理を指導するとともに管理が良好な空家については「空家バンク」を活用し、鉾田市への移住・定住の促進を図りました。また、管理不全空家に対する解体費の補助を実施しました。



市 HP で令和6年度決算書及び決算に関する説明書が公開されています。



決算書はこちら



決算に関する説明書はこちら



特集

令和6年度歳入歳出決算

主な事業をピックアップ

私たちの税金がどのような事業に使われたのかチェックしてみましょう！

公共交通対策事業



主な事業

5,584万円

デマンド型乗合タクシー運行事業による市内における市民の移動手段の確保や市外限定デジタルタクシー利用助成事業により、市外医療機関への通院移動にかかるタクシー運賃の一部を助成することで市民の市外への移動を支援しました。

安全で安心なまちづくり推進事業



主な事業

3,014万円

地区からの要望に対し、通学路等を中心に防犯灯を設置することで、犯罪行為の抑止及び市民の防犯意識を高め、安全で安心なまちづくりを推進しました。

ふるさと鉾田応援寄付記念品事業



主な事業

1億7,241万円

ふるさと納税ポータルサイトを活用しふるさと納税による寄付を募るとともに当市の特産品等のPRを行いました。

寄付件数：18,108件

寄付金額：330,896,000円

健康増進施設管理運営事業



主な事業

2億8,137万円

とっぴ・さんて大洋の運営維持と修繕工事を行うとともに、ほっとパーク鉾田の再開のための改修工事を行いました。

※決算額は四捨五入により記載しています。 ※イラストはイメージです。



総務企画分科会 主な質疑 9月16日

所管：政策企画部、総務部、会計課、
議会事務局

メンタルヘルス相談事業の実績は

問 職員のストレスチェックの結果は。

答 高ストレス状態の職員が約2割に達している。残業時間や業務整理を行うことから講じていきたい。

意見 88名の職員が早期退職している状況もあることから、マンパワー不足解消に向けた思い切った改善策を期待したい。

移住定住促進事業の取組み実績は

問 当該事業の委託料における取組み実績は。

答 持続可能な地域づくりを考える人材育成、ベジチェックを活用した食育事業など、多くの事業に取り組んだ。

意見 事業に取り組む姿勢を明確にした上で、不用額を抑えた事業展開を望むとともに、農家や企業等と積極的な連携を図りつつ、しっかりと進めて欲しい。

経済建設分科会 主な質疑 9月17日

所管：環境経済部、農業委員会事務局、
建設部、上下水道部

安塚公園ふれあい広場管理事業 における除草実績は

問 安塚公園ふれあい広場の除草実績は。

答 広場内を年8回、ふれあい広場湿地ゾーンを年1回行った。施設外周には枝垂桜3本と八重桜30本を植えてあるが管理は行き届いておらず、枯れた樹木はそのままである。

意見 植栽も公園施設の一部で、施肥などの手入れは必要である。植樹後早々に枯れた樹木であれば、業者施工不良も考えられ、瑕疵を問えるのではないか。

国道51号線歩道工事の進捗は

問 国道51号線歩道工事の完成時期は。

答 工事完成の時期は未定。
市としては用地買収に取り組んでいるところで、残り12件の地権者及び関係者との交渉を進めており、84.4%の契約を済ませている。



厚生文教分科会 主な質疑 9月18日

所管：福祉保健部、福祉事務所、教育部

学校運営協議会開設事業の取組みは

問 学校運営協議会と学校評議員制度の違いは。

答 学校運営協議会は、従来の学校評議員の限定的な権限と比べ、学校運営に深く関与し、校長作成の学校方針を承認するなど権限が強化された。また、保護者・地域住民と一緒に学校運営に具体的に参画できることとなった。

各種検診の受診率等は

問 健康増進事業における各種検診受診率は。

答 本市の特定健診受診率は44.1%で、県平均の37.8%より高い。
本市の前年度に比べ、受診率が減少した理由は、令和5年度に新規で受診した方の次年度継続受診が少なかったと分析しており、今後は新規受診者開拓と、その翌年以降の受診を増やす研究をしていきたい。





決算特別委員会



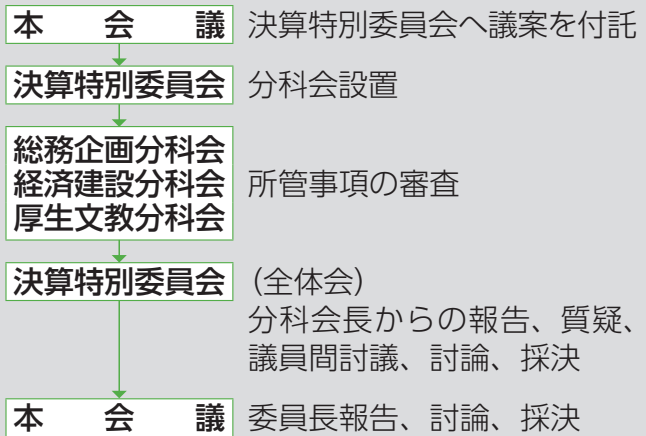
決算特別委員会は、常任委員会ごとに分科会を設置し、集中審議を行いました。

審査の能率向上を図り、詳細な検討を行うために置くもの。

委員構成
 委員長 小沼 勝
 副委員長 亀山 彰
 委員 議長及び議会選出の
 監査委員を除く議員

9月11日設置

○流れ



全体会 9月22日

9月22日に行われた決算特別委員会では、各分科会で審査された議案の審査経過が報告されました。

続く議員間討議では、各分科会より「新庁舎・公共施設等の整備について」、「鹿島灘海浜公園拠点化事業について」、「教育環境の改善と充実に向けて」が提起され、多くの委員から、それぞれの事業の執行体制等に係る指摘や改善等を求める意見が出されました。

その後、討論、採決が行われ、議案第1号令和6年度鉾田市一般会計歳入歳出決算認定については、賛成少数により不認定となりました。議案第2号及び第3号については、賛成多数により認定、議案第4号から第6号については、全会一致で認定されました。

主な討論

議案第1号 令和6年度鉾田市一般会計歳入歳出決算認定について

反対

事業評価及び改善すべき課題などへの取り組みが見られず、一般社団法人鉾田市観光物産協会への指定管理委託料と補助金とその典型として挙げられる。併せて、さんて旬菜館管理事業及びみのわ水鳥公園管理事業等は、法人維持のための委託料となっており、他民間事業所であれば観光客や交流人口の増加、経済効果の向上が考えられる。販路拡大支援事業及び地域魅力発信事業では、多くの議員から課題を指摘し改善を求めたが、見直しも行われず成果が生まれない事業となっている。また高ストレス状態の職員が約2割に達する調査結果の中、直近8年間で88名の職員が早期退職している状況を鑑み、これまでの対応が適切ではなかったことに加え、時間外勤務手当の不払い実態や公平委員会が機能していないこと、新庁舎・公共施設等整備事業では、事業財源の大半を占める地方債の特性を広く理解してもらうための説明が不足していたことと併せ、建設候補地決定プロセスに瑕疵が見受けられ、市民の理解を得るには難しい状況から反対する。

賛成

多くの事業で国県補助金や有利な地方債活用など、事業の根幹をなす収入確保に努め、財政健全化指標も適正水準を維持し妥当な行政運営であった。中でも新庁舎・公共施設等整備事業は、基本構想の中で方向性を示し、基本計画策定にも着手、継続した円滑な事業推進を期待するものである。また喫緊の課題である人口減少対策事業では数多くの事業が展開され、市内定住が図られたことは事業に一定の効果があつた。また公共交通対策事業では、市外医療機関へ通院するためのタクシー利用助成事業が新たに開始された。市民の暮らしを守るとともに将来を見据えた様々な事業が幅広く実施されたことは評価に値するものである。今後も市民の福祉向上と魅力あるまちづくりが期待できることから賛成する。



令和7年第6回臨時会

10月10日〔金〕本会議

- ・開会
- ・会議録署名議員の指名
- ・会期の決定
- ・諸般の報告
- ・市長提出議案説明・質疑・討論・採決
- ・閉会

概要

令和7年第6回臨時会は、10月10日の1日間の会期で開かれ、市長から議案第1号令和7年度鉾田市一般会計補正予算（第8号）の議案1件が提出されました。

本議案は、令和7年第3回定例会に上程され否決となった議案第9号令和7年度鉾田市一般会計補正予算（第6号）及び議案第23号令和7年度鉾田市一般会計補正予算（第7号）の内容に変更を加えたもので、速やかに予算措置をしなければ、今後の市民生活に影響を及ぼすもの、義務的な経費及び国の施策に基づく経費が計上されているものであります。

採決においては、全会一致で可決されました。



全会一致で可決した議案等

会議名	議案等
第6回臨時会	第1号 令和7年度鉾田市一般会計補正予算（第8号）

主な日程

令和7年第3回定例会

8月29日〔金〕本会議

- ・開会
- ・会議録署名議員の指名
- ・会期の決定
- ・諸般の報告
- ・行政報告並びに市長提出議案説明（議案第1号から第22号及び報告第1号から第3号、監査報告）
- ・鉾田・大洗広域事務組合議会議員の選挙
- ・議員派遣の件

9月2日〔火〕本会議

- ・一般質問
- ・一般質問

9月3日〔水〕本会議

- ・一般質問
- ・議案第7号から第22号質疑・討論・採決

9月9日〔火〕本会議

- ・決算及び財団報告に関する質疑
- ・決算特別委員会（総務企画分科会）
- ・決算特別委員会（経済建設分科会）
- ・決算特別委員会（厚生文教分科会）
- ・決算特別委員会（全体会）

9月11日〔木〕本会議

- ・市長提出議案説明（議案第23号）
- ・本会議

9月16日〔火〕本会議

- ・経済建設常任委員会
- ・総務企画常任委員会
- ・厚生文教常任委員会

9月24日〔水〕本会議

- ・議案第8号提案説明・質疑・討論・採決
- ・議案第1号から第6号委員長報告・質疑・討論・採決
- ・議案第23号質疑・討論・採決
- ・請願第07・4号委員長報告・質疑・討論・採決
- ・議案第9号提案説明・質疑・討論・採決
- ・閉会



概要 要

令和7年第3回定例会は、8月29日から9月29日までの32日間の会期で開かれ、市長から令和6年度各会計決算など23件の議案と3件の報告がなされました。また議員から1件、委員会から1件の議案が提出されました。なお令和6年度各会計決算は、決算特別委員会に付託され、所管する分科会ごとで集中審議が行われました。

一般質問においては、9人の議員から通告がなされ、巴川の河川氾濫対策、保育幼児教育再編整備推進事業について、教育環境の整備について、副市長の職務についてなど多くの内容を質しました。

総務企画常任委員会では「防災対策の現状と課題・将来構想について」「学校跡地について」の所管事務調査、厚生文教常任委員会では請願審査のほか「鉾田南中学校施設機能及び中学校給食の現況調査」「旭統合小学校施設等工事進捗状況現地調査」の所管事務調査、経済建設常任委員会では、鉾田市商工会青年部の方々と「市内商工業の振興と地域経済の発展に向けて」をテーマに活発な意見交換会が行われました。

今定例会では、市長提出の議案第1号令和6年度鉾田市一般会計歳入歳出決算は不認定、議案第9号令和7年度鉾田市一般会計補正予算（第6号）及び議案第23号令和7年度鉾田市一般会計補正予算（第7号）は否決、その他の市長提出議案は可決されました。

また、議員提出の議案第8号市長発言の訂正と謝罪を求める決議書並びに厚生文教常任委員会からの議案第9号教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持に係る意見書の提出については可決されました。

選挙

鉾田・大洗広域事務組合議会議員

（当選人）

岩間 勝栄

全会一致で可決した議案等 / 報告を要する案件

会議名	議 案 等	
第3回定例会	第4号	令和6年度鉾田市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について
	第5号	令和6年度鉾田市水道事業会計収入支出決算認定について
	第6号	令和6年度鉾田市下水道事業会計収入支出決算認定について
	第7号	鉾田市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について
	第8号	鉾田市移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例の一部改正について
	第10号	令和7年度鉾田市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）
	第11号	令和7年度鉾田市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
	第12号	令和7年度鉾田市介護保険特別会計補正予算（第1号）
	第13号	鉾田市政治倫理審査会委員の任命について（鬼沢 洋一 氏）
	第14号	鉾田市政治倫理審査会委員の任命について（方波見 隆雄 氏）
	第15号	鉾田市政治倫理審査会委員の任命について（中根 智子 氏）
	第16号	鉾田市政治倫理審査会委員の任命について（藤沼 浩 氏）
	第17号	鉾田市政治倫理審査会委員の任命について（人見 光一 氏）
	第18号	人権擁護委員の推薦について（石崎 千恵子 氏）
	第19号	人権擁護委員の推薦について（石崎 さつ江 氏）
	第20号	人権擁護委員の推薦について（埴 京子 氏）
	第21号	人権擁護委員の推薦について（白井 律子 氏）
	第22号	人権擁護委員の推薦について（山口 俊夫 氏）
	議案第9号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持に係る意見書の提出について



提出議案概要はこちら



各議員の賛否が分かれた議案等

会議名	議員名 議案等		関根正史	久保田豊	土子勝也	羽成洋一	鬼澤治男	高埜栄治	亀山彰	小沼勝	根寄眞	水上美智子	入江晃	岩間勝栄	井川茂樹	米川宗司	山口徳	田口清一	堀田正衛	高野衛	討 論		採決結果	
																					※議案等について			
																					賛	成 反 対		
第3回定例会	第1号	令和6年度鉾田市一般会計歳入歳出決算認定について	●	●	●	●	○	●	●	●	●	○	議長は採決に加わりません	●	●	○	○	○	○	○	鬼米 澤川 関根 羽成	久保田 根成	不認定	
	第2号	令和6年度鉾田市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	●	久保田 高 野		認定	
	第3号	令和6年度鉾田市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	●	根 寄 高 野		認定	
	第9号	令和7年度鉾田市一般会計補正予算(第6号)	●	●	●	●	○	●	●	●	●	○		○	●	●	○	○	○	○	○	亀 山		否決
	第23号	令和7年度鉾田市一般会計補正予算(第7号)	○	●	●	●	○	●	●	●	●	○		○	●	●	○	○	○	○	○	米 川 久保田		否決
	第8議案	市長発言の訂正と謝罪を求める決議書	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○		●	○	○	●	●	●	●	●		高 野	

○：議案等に対して賛成 ●：議案等に対して反対 退：退席 欠：欠席 除：除斥

否決

令和7年第3回定例会

議案第9号

令和7年度鉾田市一般会計補正予算(第6号)

補正の主な内容

- ・物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の前年度実績に伴う国庫支出金等返還金
- ・加配保育士の増に伴う保育所等障害児保育事業費補助金
- ・鉾田クリーンセンターにおける可燃ごみの外部処理委託料
- ・さんて句菜館における動力制御盤等の更新工事費
- ・全国瞬時警報システムの新型受信機への改修工事費
- ・閉校小学校解体撤去工事に係る実施設計等委託料(4校分)
- ・定期人事異動等に伴う人件費増額 など

反対討論

・閉校小学校解体撤去工事に係る実施設計等委託料 3,740 万円について、大洋地区小学校跡地 4 校のうち 2 校は学校跡地利活用事業の優先事業者が決定しており 4 校分の解体設計委託料の予算計上は無駄である。令和 9 年 3 月末までに解体すれば良いためのタイミングでの 4 校分の一括計上は時期尚早である。

否決

議案第23号

令和7年度鉾田市一般会計補正予算(第7号)

補正の主な内容

否決された議案第9号令和7年度鉾田市一般会計補正予算(第6号)のうち大洋地区閉校小学校解体撤去工事に係る実施設計委託料 2 校分を除いたもの

賛成討論

大洋地区の閉校小学校は大洋小学校が開校してから 5 年以内に解体または売却しなければならず、解体等が間に合わなければ国から受けられる支援を受けられなくなり市として大きな損害を受けることになりかねない。また、補正予算にはその他にも市民生活に直結した内容が計上されている。

反対討論

大洋地区閉校小学校解体撤去工事に係る実施設計委託料について解体ありきで実施設計を進めるには大きな疑問を抱かざるを得ない。利活用の可能性、民間活用の道など多様な選択肢を慎重に比較検討すべきである。

可決

令和7年第6回臨時会

議案第1号

令和7年度鉾田市一般会計補正予算(第8号)

補正の主な内容

否決された議案第23号令和7年度鉾田市一般会計補正予算(第7号)のうち、速やかに予算措置しなければ今後の市民生活に影響を及ぼすもの、義務的な経費及び国の施策に基づく経費について計上するもの

- ・物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の前年度実績に伴う国庫支出金等返還金
- ・鉾田クリーンセンターにおける可燃ごみの外部処理委託料
- ・全国瞬時警報システムの新型受信機への改修工事費
- ・定期人事異動等に伴う人件費増額 など





ここが聞きたい!! 一般質問

議員名	質問事項
高野 衛 P12	1 巴川の河川氾濫対策について
	2 PFAS(有機フッ素化合物)の問題について
	3 人口減少対策について
	4 不法就労の問題について
土子 勝也 P12	1 公共施設等整備について
	2 遊休農地等について
	3 副市長の働き方と市政への取り組みについて
高埜 栄治 P13	1 市政運営に係る「職員不足」及び「事業の優先順位」の具体的問題意識と解決策について
	2 持続性ある銚田市農業推進のための生産管理流通等資源の有効活用と労働力確保について
	3 隆盛を極める2JA農産物販売所のある本市にあって、財政負担の大きい本市が管理運営する施設の今後の方向性について
鬼澤 治男 P13	1 今年度、再開された大竹海水浴場について
	2 鹿島灘海浜公園の再開発の方向性について
	3 街中活性化と独身男女の出会いの場所作りイベント構想について
亀山 彰 P14	1 保育幼児教育再編整備推進事業について
	2 副市長の職務全般について

議員名	質問事項
水上美智子 P14	1 移動スーパーにおける買い物支援について
	2 子ども議会の開催について
	3 eスポーツの活用について
	4 医療用ウィッグについて
関根 正史 P15	1 空き家問題について
	2 不正受給問題について
	3 教育環境の整備について
久保田 豊 P15	1 飯名地区市有地の維持管理経費と活用ビジョンについて
	2 大洋地区小学校跡地利活用について
	3 健康増進施設の管理運営並びに譲渡について
	4 銚田市における新型コロナ関連の各種助成金・給付金の実績について
羽成 洋一 P16	1 鹿島灘海浜公園拠点化事業の進捗について
	2 副市長の職務について



一般質問とは？

議員が市政全般の現状や方針などを問うものです。ここでは、一般質問を要約して掲載します!!



銚田市議会ホームページで
一般質問の会議録を公開しています!

- ①銚田市のホームページへアクセス
[<https://www.city.hokota.lg.jp>]
- ②市ガイド内の「銚田市議会」クリック
- ③会議録をクリック

※今定例会の会議録は12月上旬公開予定です。

また、各議員の2次元コードを読み込むことで、一般質問の録画放送を再生できます。



銚田市議会 会議録

検索



巴川の河川氾濫対策は



高野 衛



問 巴川^{かなめばし}鹿行橋上流で発生した住宅床上浸水後に、茨城県銚田工事事務所において堤防の嵩上げ工事が始まったその進捗状況を伺う。

答 【建設部長】鹿行橋から上流側へ4.8キロの区間が事業化され、築堤、堤脚水路、樋管工事等が現在1キロほど継続して行われており、嵩上げについては終わっていない。また、樋管については1キロほど終わっているが、全体では半分までは終わっていないと伺っている。

問 巴川鹿行橋周辺は内水氾濫も発生しており毎年のように県道の冠水により通行止めが繰り返されている。排水機場建設要望に対する県の回答と対応について伺う。

答 【建設部長】県では新たな排水機場を設置することは難しく、現在計画はないと伺っている。

問 巴川青島橋周辺において土砂が堆積し、巴川の内側が中州状態になっている。県への要望について伺う。

対する県の回答と対応について伺う。

答 【建設部長】銚田工事事務所においても状況を把握しており、流下能力に大きく影響がある場合には状況に応じ堆積土砂を撤去することも考えていると伺っている。

問 巴川鹿行橋下流、当間、野友方面は巴川の越水により、ほととパークの機械室が冠水するなど大きな被害が発生した。当間、野友地内の巴川堤防嵩上げ要望に対する県の回答と対応について伺う。

答 【建設部長】地盤沈下等により堤防の沈下等が見られる箇所について堤防の嵩上げ等の対応を行っていく考えがあると伺っている。

提言 全国的に色々なところで台風、豪雨によって大きな被害が発生しているような状況を受け、河川の改修を早く進めて欲しいというのが市民の要望である。今後県に対して、強い要望を継続して欲しい。

全国的に色々なところで台風、豪雨によって大きな被害が発生しているような状況を受け、河川の改修を早く進めて欲しいというのが市民の要望である。今後県に対して、強い要望を継続して欲しい。

全国的に色々なところで台風、豪雨によって大きな被害が発生しているような状況を受け、河川の改修を早く進めて欲しいというのが市民の要望である。今後県に対して、強い要望を継続して欲しい。

飯名地区の市有地利活用と新庁舎・公共施設等整備に伴う周辺開発の考えは

土子 勝也



問 コミュニティセンター整備事業が中止となった飯名地区の市有地2.7haの利活用方針は。併せて新庁舎・公共施設等整備に伴う周辺開発の考えを伺う。

答 【政策企画部長】飯名地区の市有地は、アクセシビリティ、利便性等の優位性に優れている。今後の土地利用においては、行政利用と民間利用の2つが考えられ、現在は保育幼児教育再編整備について議論がなされている。この議論の行方によっては、候補地となることもあるので、その状況を待つて検討したい。

新庁舎・公共施設等整備に伴う周辺開発については、基本構想にて基本的な考え方、方向性を示しているところ、非常に重要であり、当然、民間活力に頼らなければならぬ要素も大きいと思われるが、現在、策定中の基本計画において検討を進めていきたい。なお、周辺道路については、都市計画道路当間朝負線の事業区間早期完成及び未事業区間早期事業化、更に銚田工事事務所前交差点改良の要望書を市長より県へ提出している。上下水道整備については、庁内調整を進めており、特に公共下水道

は、排水区域等の協議を県も含め行っているところである。

再質問 銚田工事事務所前交差点は交通量も多く、また市街へ向かう道路には歩道も未整備である。新庁舎等整備によって、歩行者への危険は増すものと思うが、どのように考えているのか。

答 【建設部長】交差点改良は要望書を提出、歩道整備については、市長から口頭要望を行っている。要望は口頭でなく、書面で行うべき。安全性確保のため、しっかりとやって欲しい。

再質問 下水道管路布設の考えを伺う。

答 【上下水道部長】下水道の現計画としては、市街の方から水戸銚田佐原線を通して銚田工事事務所の方に配管を延長する計画である。計画については、まだ全体計画に含まれておりませんので、今後の事業課等との調整、協議で決定される用途区域等に併せて、下水道区域の計画設定を進めていきたい。

意見 新庁舎等整備の際もきちんと考えて進めていただきたい。

新庁舎等整備の際もきちんと考えて進めていただきたい。



財政負担の大きい鹿島灘海浜公園及びさんて旬菜館運営課題の今後の方向性は



高埜 栄治



問 令和6年度の両JAの直売所及び本市直売所の出荷者数及び営業利益の比較について伺う。

答 【建設部長】鹿島灘海浜公園売店農産物出荷組合数は61名、経常利益は40万余円である。【環境経済部長】さんて旬菜館出荷者数62名、営業利益19万余円である。サングリーン旭及びファーマーズマーケットなどらうの出荷者数は夫々316名、294名となっている。

問 鹿島灘海浜公園管理運営の収支と本市政負担について伺う。

答 【建設部長】茨城県からの鹿島灘海浜公園管理委託金及び公園利用料合わせて1839万余円で、本市が施設部を含めて鉾田市健康づくり財団へ支払った公園全体の管理委託料は5233万余円である。

提案 茨城県からの委託料は1823万余円しかなく市負担は3409万余円と大きくなっている。国土交通省では、国立公園の活用促進に宿泊施設等誘致のため星野リゾート等民間事業提案等を求めている。本市でも単に道の駅構想ではなく、

ネームバリューのある民間事業者に提案を仕掛けることで、鉾田市の知名度アップと観光誘客に繋がると思っているので是非取り組んでいただきたい。

答 【市長】鹿島灘海浜公園は鉾田市ののみならず茨城県においても宝と考える。ご提案を踏まえ取り組みたい。

問 鹿島灘海浜公園拠点化事業に係る国土交通省及び茨城県との調整進捗状況について伺う。

答 【建設部長】国とは5月に道の駅化に向けて障害者及び妊産婦用スペースの必要性等及び整備範囲について協議した。

問 さんて旬菜館の維持管理の改善に向けた借地等の見直しについて伺う。

答 【環境経済部長】借地料は所有者5人に124万余円、管理委託料を（一社）鉾田市観光物産協会へ400万円を支払っている。

提案 利益が19万円程度しか出せない施設では大洋地区の振興に繋がっているのか疑問であり、施設の無償譲渡も含め生産出荷者との協議をいただきたい。

大竹海岸鉾田海水浴場養浜工事の詳細と今後の計画は

鬼澤 治男



問 昨年度、海岸浸食に伴い開設中止となつた大竹海岸鉾田海水浴場は、今年度、再開に向けた養浜工事等の対策が施された。工事等の詳細について伺う。

答 【環境経済部長】養浜工事は、5月連休明けから7月18日にかけて茨城県において実施された。施工区域として、海水浴場区域約600mのうち、南側約400mの区域に約12,000㎡の砂を投入した。工事費用として約4,000万円と聞いている。

問 養浜工事は一時的な対策である。今後の砂浜の浸食対策の方法や計画について伺う。

答 【環境経済部長】現在、管理者である茨城県では、様々な工法について専門家を交えて検討している。市は、茨城県に対して海岸の安全性や景観を考慮した対策について、養浜工事の継続を含めた要望活動を実施していく考えです。

再質問 砂の流出を防ぐため、突堤や人工リーフ等の設置の考えについて伺う。

答 【環境経済部長】短期的対策として砂の補充、中長期的対策として潮流の変化を起こす人工リーフや突堤、ヘッドランドなど様々な工法がある。慎重にシミュレーション、研究を重ね、危険な潮流が生み出されないよう対策を検討していくこととなる。

再質問 今後潮位の変化等に伴う砂の流出状況調査を実施する考えは。

答 【環境経済部長】茨城県において、大竹海岸を含めた約15kmの海岸線、約37,000㎡の流出を試算している。今後情報把握に努めていく。





保育・幼児教育に対する市の考えは



亀山 彰

問 市内保育・幼児教育の各施設について、現在の状況と利用状況について伺う。

答 【福祉事務所長】施設の利用状況は、市内公立幼稚園で、旭幼稚園が築四十二年、鉾田幼稚園が築四十七年、つばさ幼稚園が築三十五年、また市内保育所八か所のうち、公立施設である第一、第二保育所ともに築四十四年を経過している。次に、八月一日現在の利用状況については、市内幼児教育施設は、利用定員三〇七人に対して利用者数八十八人、入所率二十九%です。市内保育施設は、利用定員一、〇一五人に対して利用者数八八五人、入所率八十七%です。

再質問 公立幼稚園及び保育園の定員基準について伺う。

答 【福祉事務所長】保育園は、毎年各保育所から利用定員の申し出を受けて子ども・子育て会議等で決定している。

答 【教育部長】幼稚園入園希望の需要や施設の規模等に基づいて設定している。

問 公立認定こども園整備に向けた現在の市の考えについて伺う。

答 【福祉事務所長】各関係機関との議論、説明が不十分であるとの議会からの指摘を真摯に受け止め、再編整備に向け、基本的な考え方や方針を整理し、地域の実情に即した計画的な整備を進めるため、各関係機関等との協議により方針の策定に取り組んでいる。今後、保育園利用者へのアンケート調査など幅広く利用者の声に耳を傾け、方針案については、年内を目標にお示ししたいと考えている。

提言 現在の子育て世代において、生活習慣や子育て環境は非常に多様化している。新たな認定こども園の建設場所ありきではなく、幼児教育を希望する市民がいれば、その期待に応えるため、運営方法等民間事業者との協議を行うなど、市の将来を見据え、整備に向けた協議をしっかりと進めて欲しい。

答 【福祉事務所長】提言を踏まえ、今後も迅速に議論を進めていく。先ずは、方針策定に向けて努めていく。

子ども議会を開催する考えは

水上 美智子



問 七年前に開催した子ども議会でも明らかとなった運営方法等の課題を改善した上で、市政への関心と参画意識の醸成、郷土愛着の取組みとして子ども議会開催について市の考えを伺う。

答 【教育部長】当時開催した子ども議会での課題として、学習内容などは好評だった一方で、質問時間が短いこと、再質問がないなどの進行上の課題や参加できる生徒が少ない、事前学習の準備時間の不足などの意見があった。今後は、これらの課題や意見に対して各関係機関と協議を重ねながら子ども議会の実施に向けて準備を進めていく。

再質問 開催の前に生徒自身がしっかりと市の課題等を学習する必要があることから、市職員が各学校へ出向く出前講座を実施する考えについて伺う。

答 【教育部長】市政への関心を高めるため、生徒たちにとって関心の高いテーマについて職員

を派遣することは可能である。

再質問 子ども議会の様子や市ホームページなどへ録画配信する考えについて伺う。

答 【教育部長】生徒の保護者方への了解や市議会との協議を経た上で実施することは可能である。

再質問 改めて教育長から子ども議会開催に向けた思いを伺う。

答 【教育長】中学生が市議会の仕組みを理解して、自らの考えをまとめて発言することは大変貴重な機会と捉えている。教育環境、地域の安全、福祉、環境など多様な課題について主体的に意見を述べることは、子どもたちが地域社会の一員であることを自覚する上でも大きな深い学びができるものと考えている。教育委員会としても、子どもたちが主体的に学んで、地域を共に担う存在として成長できるように、事前事後の学習と併せて子ども議会の充実に向けて取り組みを進めていく。



新たに通学路を利用する児童の交通安全対策は



関根 正史



問 通学路交通安全プログラムの更新と危険箇所の改善点について伺う。

答 【教育部長】令和七年度の取組状況は、

八月十八日、二十一日に通学路交通安全推進会議を開催し、各小中学校から提出された通学路の危険箇所三十二箇所の確認及び対策方針の協議を行った。今後、各所管で対策検討を行い、プログラム案を作成の上、年度末に公表を予定している。また、主な危険箇所の改善策は、歩道や横断歩道の整備、路面標示の引き直し、繁茂樹木の伐採等のハード対策、交通安全指導等のソフト対策となっている。

再質問 更新や改善にあたりどのような基準で危険度を判断し、優先順位を付けているのか伺う。

答 【教育部長】各学校から優先順位を付けた危険箇所について、特に事故の発生が予想される場所など緊急性が高い箇所は、最優先対策箇所としている。

再質問 危険箇所の改善が見えないとの声を聞くが、実際に危険箇所の改善に結びついた事例について伺う。

答 【教育部長】令和五年度及び六年度の対策協議箇所は五十二件、うち対策箇所は二十五件です。具体策として、雑草繁茂箇

所の除草、警戒看板やカーブミラー、ラバーポール等の設置、外側線や停止線の引き直し、道路の補修等を実施している。

再質問 今後の更新にあたり、優先的に改善すべき課題はどこにあるのか。子どもの命を守る実効性のある仕組みにするために具体的にどのような強化を図るのか伺う。

答 【教育部長】各学校では、児童生徒に対する交通ルールの遵守指導のほか、周囲の状況に注意して通行する必要があることを指導するとともに、保護者や地域が危険箇所や交通安全に対する共通理解を図り、一層の安全確保の取組みを推進していく考えです。

提言 通学路交通安全プログラムは、子どもたちの命を守るために極めて重要な取組みであるが、プログラムは一度策定すれば終わりではなく、現場実態に即して不断に改善し続けなければならない。とりわけ通学時間帯の現地確認や地域住民、保護者からの通報を踏まえた危険箇所の把握、そして改善優先順位の明確化が必要である。更に、教育委員会、警察、道路管理者、地域住民が連携した点検を定期的に行い、改善策を横断的に進め、子どもたちの安全、安心に努めて頂きたい。

飯名地区市有地の維持管理費と活用ビジョンは

久保田 豊



問 飯名地区文化施設として予定していた面積、購入費、土地提供者数を伺う。

答 【政策企画部長】用地買収した面積は、

16筆で2万7,211㎡、購入費用は、1億6,082万6,000円、土地提供者は14名でした。

再質問 当初、どのような施設を予定して土地を購入し、どのような地域の未来を考えて行った事業なのか伺う。

答 【政策企画部長】町施設として新市まちづくり計画に位置付けた事業で、(仮称)銚田市民交流館整備事業として、ホールや展示室、会議室等を備え、延べ床面積約6,479㎡、駐車場台数350台を予定していた。

再質問 市の未来を思っただけで、土地を提供された方々に対して、市はどう受け止めているのか伺う。

答 【政策企画部長】先代々受け継がれてきた大切な財産をお譲り頂いたと思っている。市にとって有用な土地として計画していく考えで、今後も最大限活用を努めていく。

再質問 土地購入後の年度別維持管理費について伺う。

答 【政策企画部長】主に除草等や立木伐採の委託業務で、平成30年度

から令和6年度を平均すると、約50万円程度支出している。

再質問 事業中止による支出総額について伺う。

答 【政策企画部長】(仮称)市民交流館整備事業として委託料、工事費、用地取得費等合計5億4,389万4,000円、(仮称)子育て・コミュニティセンター整備事業としては、委託料、賠償金等合計で6,894万1,000円で、2つの事業を合わせて総額6億1,283万5,000円を支出している。

再質問 住民は、お金を使ったのに何も残らなかったと受け止めている。この認識をどう転換させていくのか伺う。

答 【政策企画部長】結果として、現在空き地であることは残念に思うが、その時々で最適な判断のもと進めてきた。今後も有効な活用をしっかりと考えていく。

再質問 将来活用ビジョンについて伺う。

答 【政策企画部長】飯名地区市有地は、幹線道路へのアクセス性に加え、近隣に商業施設が立地する利便性など優位性のある土地である。現在、保育・幼児教育再編整備について議論されており、その動向を待った上で利活用について検討していく。





副市長の職務範囲とその状況は



羽成 洋一

問 副市長の兼業等が認められる範囲について伺う。

答 【総務部長】地方自治法第166条、同条が準用する同法第141条及び第142条の規定により、国会議員や他の地方公共団体の常勤職員等に就くこと、本市と請負等の利害関係を有する法人や団体役員等に就くことは明確に禁止されている。副市長の兼業が認められるのは、本市との利害関係が一切なく、公益性が高く、公務への支障や利益相反の懸念がない場合に限られる。

再質問 副市長が一般社団法人地方創生振興機構の代表者であることと併せて以前行政区域長をされていた時の報酬について伺う。

答 【副市長】現在、私創生振興機構の代表理事を無報酬で務めている。また、本年3月まで勤めていた行政区域長は年間12万円の報酬が支給されていたと記憶している。

再質問 副市長は特別職地方公務員であるが、行政区域長の職は、地方公務員法第38条の規定に抵触しないのか伺う。

答 【総務部長】以前は、行政区域長の位置づけとして公的な役割と示されていたが、現時点では、特

別職の公務員等の制限はありません。

再質問 兼業の場合は、副市長に限らず職員も可能なのか伺う。

答 【総務部長】特別職地方公務員の兼業は、法令上の直接的な制約は設けられておらず限定的であるが、一般職地方公務員の兼業は、法律に基づき原則禁止で、例外的に任命権者の許可を受けて従事が可能となる違いがある。

問 副市長の地元牛久市看板が設置されていたり、昨年10月には講演会を開催されている。法律に抵触しないとはいえ、この状況を銚田市民の中には疑念を持っている方もいる。銚田市民のための活動を実施しない理由について伺う。

答 【副市長】講演会は牛久市民のために実施したものではないが、今後要望があれば銚田市民に向けた道の駅セミナーなどを開催させて頂きたい。

再質問 要望の有無にとらわれず、積極的な市内での活動について伺う。

答 【副市長】今後、鹿島灘海浜公園拠点化基本計画に移行する前の段階で、道の駅化に向けて市民との認識のすり合わせを行わせていただければと思う。

請 願 審 査

採択

請願第07-4号

教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書採択を求める請願

【請願内容】

学校現場では、子どもの貧困・いじめ・不登校、教員の長時間労働や未配置など、解決すべき課題が山積しており、子どもたちのゆたかな学びや学校の働き方改革を実現するためには、加配の増員や少数職種の配置増など教職員定数改善が不可欠である。

このことから国の施策として定数改善にむけた財源保障をし、子どもたちが全国のどこに住んでいても、ゆたかな子どもの学びを保障するため、義務教育費国庫負担制度の堅持を求めるもの。

【審査経過】

厚生文教常任委員会に付託された本請願を、請願紹介議員及び参考人の出席を求めて審査しました。審査においては、教職員組合の加入状況や、これまでの請願提出による法改正などの成果、昨年の県内請願提出先での採択等の結果、給特法の一部改正法案にある「業務の3分類」の内容に質疑がなされました。審査の結果、本請願は願意妥当であると認め、**全会一致で採択**となりました。

なお、本会議においても全会一致で採択となりました

国に対し意見書を提出しました



令和7年第5回臨時会

7月14日（月） 本会議

- ・ 開会
- ・ 会議録署名議員の指名
- ・ 会期の決定
- ・ 諸般の報告
- ・ 市長提出議案説明・質疑・討論・採決
（議案第1号及び第2号）
- ・ 鉾田・大洗広域事務組合議会議員選挙
- ・ 大洗、鉾田、水戸環境組合議会議員選挙
- ・ 閉会

主な日程

概要

令和7年第5回臨時会は、7月14日の1日の会期で開かれました。

議案は、市長から一般会計補正予算と鉾田市監査委員の選任について計2件が提出され、審議を行いました。

今臨時会に提出された全ての議案は、全会一致で可決されました。

選挙 鉾田・大洗広域事務組合議会議員

（当選人） 高埜 栄治

選挙 大洗、鉾田、水戸環境組合議会議員

（当選人） 根崎 眞

全会一致で可決した議案等

会議名	議 案 等	
第5回臨時会	第1号	令和7年度鉾田市一般会計補正予算（第5号）
	第2号	鉾田市監査委員の選任について（米川 宗司議員を選任）



市長提出議案
概要はこちら

議会活動報告

百里基地・茨城空港に関する調査特別委員会（令和7年8月21日）

茨城空港の将来像、百里基地の航空機騒音・安全対策などについて、茨城県担当者と情報交換会を実施しました。

茨城県県民生活環境部生活文化課並びに環境対策課、営業戦略部空港対策課の職員を招いて、情報交換会を実施しました。はじめに本年7月に策定された「茨城空港将来ビジョン～首都圏第3の空港を目指して～」における茨城空港が今後目指すべき姿・果たすべき役割・それらを実現するための取組みについて、併せて茨城空港利用促進協議会が取り組む利用促進活動の説明を受けました。この説明を受け、委員からは、地域住民の声をどのように反映させたのか、空港までのアクセス道路や高速道路の延伸についての考え、他のLCCとの協議状況、利用促進の取組みなどについて質疑応答がなされました。



続いて、航空自衛隊百里基地における航空機騒音対策、訓練時の安全確保対策についての説明を受けました。委員からは、航空機騒音測定地点の増設の考え、住宅防音工事の実施状況、F-2戦闘機のAGG訓練時における騒音問題、周辺自治体との連携した要望活動の考えについて、情報交換がなされました。

この情報交換会で学び知り得たことを、今後の委員会活動に活かすとともに、住民生活の安全・安心と福祉の向上に寄与すべく、茨城空港及び航空自衛隊百里基地の今後の動向について注視してまいります。





議会活動報告



千葉県香取市 生活経済建設常任委員会 視察受入れ（令和7年10月9日）

地域特産品を活かした 地域活性化イベントについて

令和7年10月9日、「ほこたやさいとパンマルシェ」及び「ほこたサンライズメロンカフェ」に関心を持たれ千葉県香取市生活経済建設常任委員会の皆様が銚田市に行政視察に来られました。銚田市商工観光課より「ほこたやさいとパンマルシェ」及び「ほこたサンライズメロンカフェ」の説明をさせていただき、銚田市商工会からは「銚田いっぴんマルシェ」について説明させていただきました。活発な意見交換がなされ、有意義な場となりました。



委員会活動報告



総務企画常任委員会（9月25日）

【所管事務調査】

○防災対策の現状と課題、将来の構想について

銚田市役所敷地内の防災倉庫内を確認し、倉庫の設置箇所、初期対応、備蓄品、医薬品、廃棄処分方法、停電時対応、消防団との連携などの説明を受け、防災協定や防災Eメールなどについて質疑が行われました。



○学校跡地について

一般公募における優先事業者の評価の基準と評価結果及び事業内容の説明を受け、事業者の事業執行できる信頼性について委員から多くの質疑が行われました。





経済建設常任委員会(9月24日)

【意見交換会】

○「市内商工業の振興と地域経済の発展に向けて」をテーマに、鉾田市商工会青年部をお迎えし、2班の分科会に分かれ、それぞれが思う現状と課題、要望等の意見が出されました。意見として、市内のインターチェンジ付近に、消費が期待できるようにインフラ整備、働く場所と子育て環境の充実、市の補助事業で農業以外にも対象として欲しいなど、全体会で意見を確認し合うことが出来ました。

厚生文教常任委員会(9月26日)

【請願審査】

審議結果:採択(詳細については16ページに)

○請願第07 - 4号

教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書採択を求める請願について

【所管事務調査】

○鉾田南中学校施設機能及び中学校給食の現況調査について

校舎内各教室の活用状況、雨天時の結露の状況、トイレの改修状況、給食の栄養管理・栄養士等の人数や突発的な給食の代替え品の対応など直接学校の先生や栄養士、給食センターの職員の意見を聞くことができました。



○旭統合小学校施設等工事進捗状況現地調査について

工事進捗状況が工程通りであること、2階から、1階の昇降口など吹き抜けの特徴、廊下と教室の間仕切りが少ないことなど、新校舎の特徴の説明を受け、教室のエアコンや、音楽室、職員室などでも現在の学校建築について委員から質問がありました。

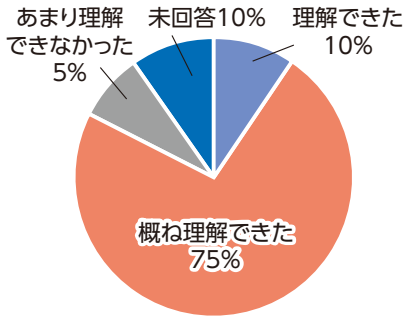


鉾田市議会に関する

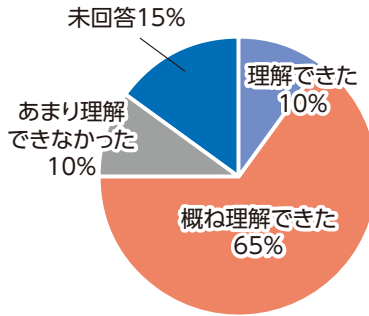
アンケート結果

傍聴者のみなさまに「鉾田市議会に関するアンケート」のご協力をお願いいたしました。その結果20名の方からご意見をいただくことができました。下記にアンケート結果の抜粋を掲載いたします。

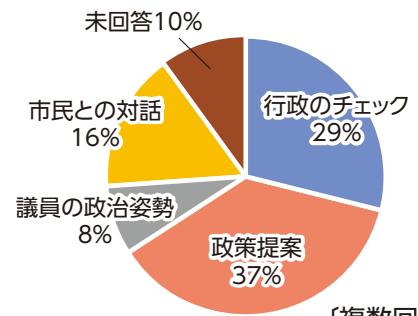
議員の発言について



執行部の発言について



議会・議員に期待すること



[複数回答可]

■その他、市議会についてのご意見

- ・多方面の質問よりひとつの事に掘り下げた質問が聞きたい (男性/60代)
- ・未達の案件等にとことん追求してほしい、子どもを増やす鉾田市独自対策、良い投資をしないと子供は増えないと思います (男性/60代)
- ・東関道の全通による交通インフラ整備、農業生産物の物流拠点の整備事業の計画についてどのような意見が出ているか？市民の関心を高める広報活動はできているのか？議会に取り上げていただきたい。 (男性/60代)



今後も市民に開かれた議会を目指すため実施する予定ですのでみなさまの議会に対する声をお聞かせください。
アンケートにご協力いただきありがとうございました！！

議会を傍聴してみませんか！

次回の定例会は
12月4日(木)～
開会は午前10時です

事前の予約は不要ですので、市役所3階事務局前にお越しいただき、傍聴の受付をしてください。
※日程は変更になる場合があります。

編集委員

委員長 鬼澤 治男
副委員長 水上美智子
委員 久保田 豊 土子 勝也
羽成 洋一 小沼 勝晃
根寄 眞 入江

令和7年第4回定例会の予定

日	月	火	水	木	金	土
11/30	12/1	2	3	4 本会議 (開会)	5	6
7	8	9 一般質問	10 一般質問	11 一般質問	12	13
14	15 常任 委員会	16 常任 委員会	17 常任 委員会	18	19 本会議 (閉会)	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31	1/1 元日	1/2	1/3

※日程は変更になる場合があります。

令和7年第3回定例会延べ傍聴者数 23名
議会映像配信視聴数 462アクセス
(令和7年8月29日～令和7年9月29日)